

令和に描く 夢と希望

新元号発表に興奮

新元号「令和」が発表された1日、県内でも新元号にちなんだイベントや商品の発売が相次いだ。「平和な時代に」「明るい時代に」……。人々は新たな時代に願いを込めた。

イベントで祝福

横浜市西区のスカイビルでは発表の約1時間後、市

在任の書道家粟津紅花さんが、黒や金の墨で「令和」の文字を揮毫するパフォーマンスを披露し、会場は歓

声に包まれた。粟津さんは「『令』の部首には人が寄り添い合う意味がある」と解説。見つめた横浜市港北区の山中幸江さん(69)は「人々が助け合う世の中になれば」と興奮気味に話した。

もとに13センチ四方の和紙に木炭の「新しい時代ない平和の時代しい」と期待を
横須賀市は地大学生らに紹介研修会で、新元号にちなんで「横レー」のレトルト食分を贈呈するが、的中者はいい
しかし、12案の「和」の文字観光課の岡本剛字が入った新元うれしい」と声を箱根町の温泉ク「箱根小涌園」は、名前に令や入場料を割引すめた。千葉県浦

座間市役所では、5月4、5日開催の市の伝統行事「大風まつり」の大風に書き入れることが決まった新元号の元字が準備された。

大風保存会相談役を務める小侯博副市長(74)が揮毫し、「次世代を担う子供たちのために勢よく書いた」と話した。小侯さんは20日、元字を



●太鼓の音楽に合わせ、力強く「令和」を書き上げる粟津さん(1日、横浜市西区のスカイビルで)
●新元号決定を報じる夕刊を手が喜ぶ高橋令和さん(1日、鎌倉市で)